

【1】自動灌水システムとは？

灌水システムの種類

人力灌水	必要なときに必要なだけ水やりができるが、人件費との費用対効果を検討する必要がある。
スプリンクラー灌水	芝生広場のように広範囲に水をやる場合に便利。撒きムラができたり、人にかかったりする心配があるため、導入の事前に十分な打合せが必要。
フォグ灌水	ミスト灌水とも呼ばれ、柔らかい自然な水やりができる。癒しの効果を発揮し、見せる水やりとして普及しつつある。
点滴灌水	ホースの敷設密度を高くすることで均一な水やりが可能。必要な植物に必要な量だけ水をやることができ経済的。ホースのどの位置でも同じ圧力・分量の水が出る「圧力調整」の機能がついている。

目的に合わせて、もっとも適切で持続性のある方法を選ぶ必要があります。

屋上・壁面緑化の特性と「点滴灌水」

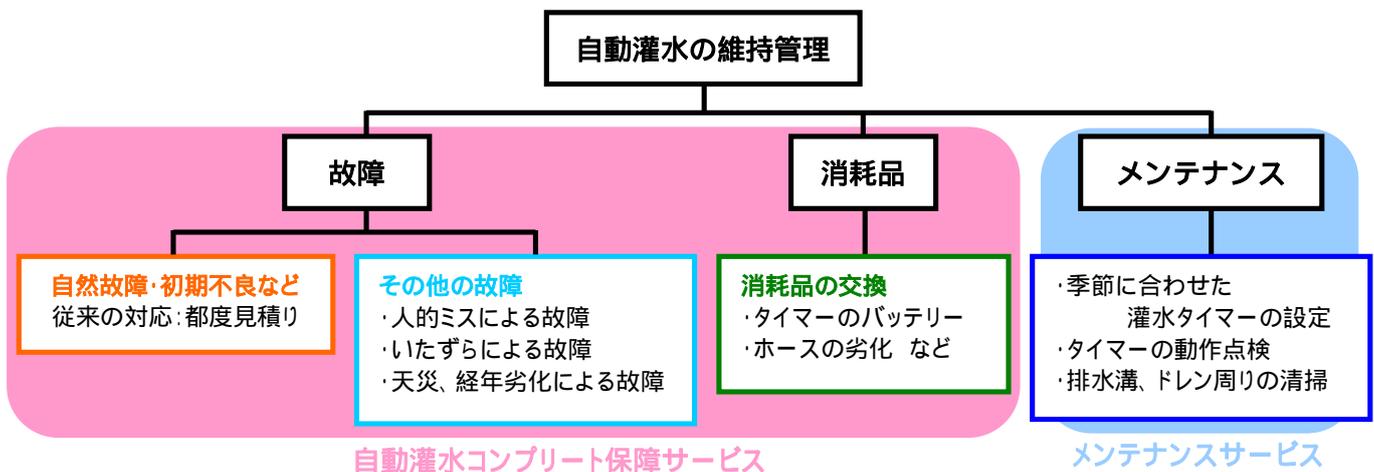
強い日差しとビル風のために**乾燥**しやすくなります
 荷重やコストの制限から土壌の厚みを十分確保できない現場が増加しています。**土壌厚が少ないと、保水力が減少します。**
 大地の植物には地下から水が補給されますが、屋上・壁面緑化の場合にはその機能がありません。
 場所によっては、高所・強風・手すりの無い屋上など、**物理的に人が入ってメンテナンスすることが難しいケースもあります。**
 広面積になるほど、人力での水やりは大変でコストもかかります。
 最も給水が必要な夏期に休暇などで作業者が不在になると、水不足で植物が枯死する危険性もあります。



そのため屋上・壁面緑化では、確実な管理が行えてメンテナンスが省力化出来る自動灌水システム、中でも、スプリンクラーのように周囲に飛散せず**確実に土壌に染み込む点滴灌水方式**を利用する現場が増えています。

屋上緑化・壁面緑化では、点滴灌水を使用するケースが一般的です。
 このプレスリリース中での「自動灌水システム」は、「点滴灌水」を指しています。

【2】「自動灌水コンプリート保障サービス」のイメージ



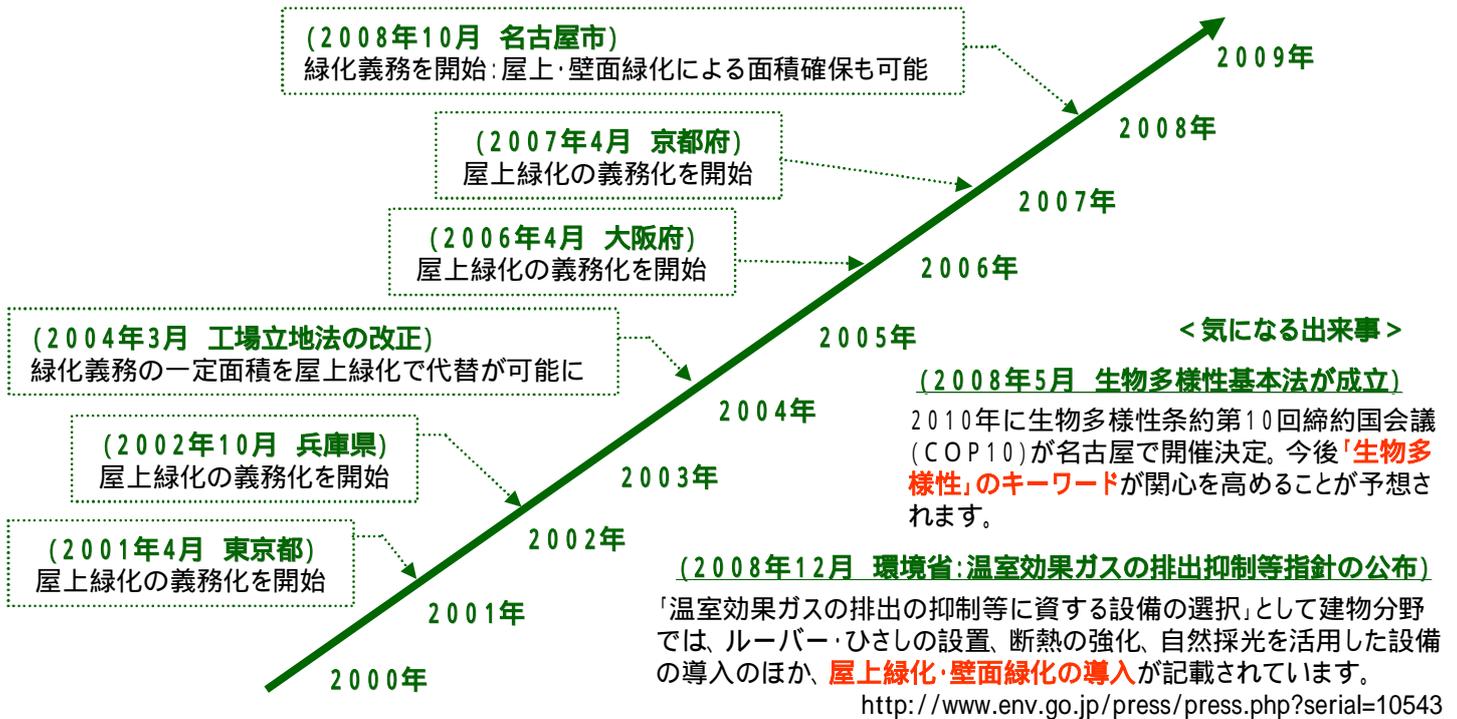
従来はばらばらだったサービス(自然故障の修理、過失や事故による故障の修理、消耗品の交換)を、シンプルにひとつにまとめた修理サービスが「自動灌水コンプリート保障サービス」です。

(注) 自動灌水システムの補修以外の費用(故障による植物の枯損、水道料金など)は保証の対象外となります。

< 参考資料 > 屋上緑化市場の変遷について

広がる屋上緑化

相次いで屋上緑化の義務化がスタート！



市場の伸び率

この7年間で市場は14倍に広がっています

(国土交通省 報道発表資料 平成20年4月25日)

屋上・壁面緑化空間は新たにどの程度創出されたのか - 全国屋上・壁面緑化施工面積調査について -

ポイント: 市場の約半分を芝生・セダムの緑化が占めています！



http://www.mlit.go.jp/report/press/city10_hh_000005.html

東邦レオとは

広報窓口 03 - 5907 - 5502 担当 曳野(ひきの)

東邦レオは、緑化資材やエコ建材の開発・販売・施工を通じて、都市の環境改善に貢献しながら、心豊かで安心感のある空間づくりを目指している社歴約40年の環境ビジネス実践企業です。

社員200名規模(売上約64億)の中堅企業ですが、屋上・壁面緑化、樹木の健康診断、外断熱、耐火被覆に関するノウハウ・実績を豊富に有しており、特に屋上緑化、壁面緑化に関しては、業界大手企業として、社内に在籍している16名の樹木医が積極的に技術開発を行っています。

